

間の宿

中・小幡宿と清水鼻立場

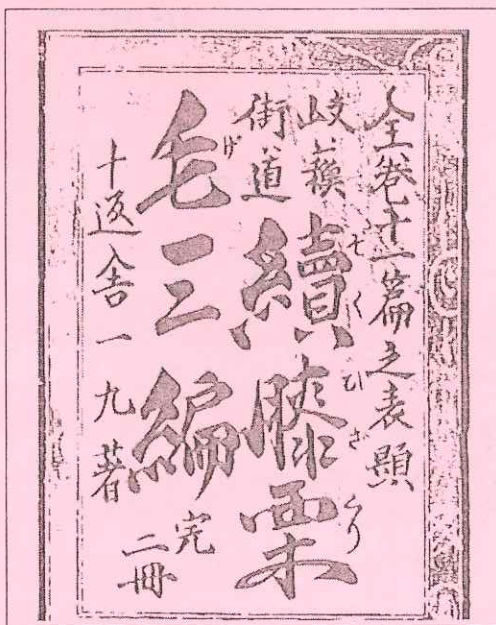
十返舎一九の「木曾街道続膝栗毛」に「清水が鼻の木賃宿の茗荷事件」が記載されています。中山道清水鼻宿の証明なのです！

日時 令和6年3月17日(日曜日) 午後1時～午後2時半頃

場所 五個荘コミュニティセンター 二階大会議室

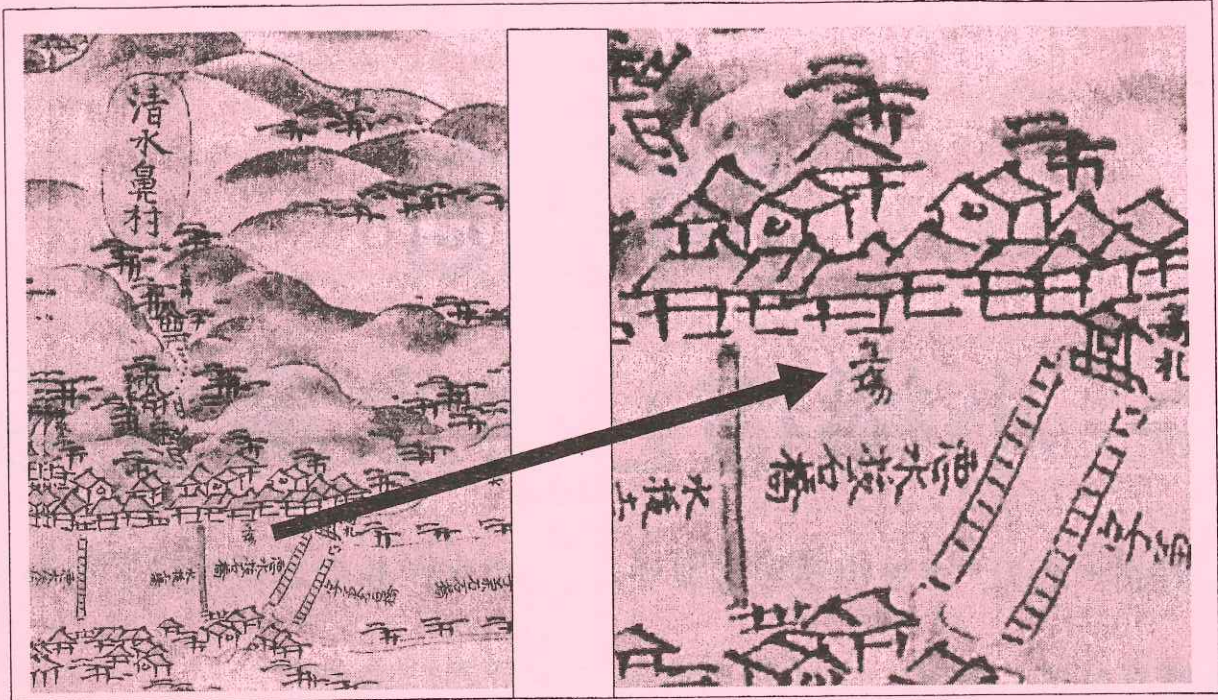
TEL 0748-48-2737

小幡デコを守る運動の一貫として、同時に小幡デコの展示会を行います。



- ☆ 発熱・風邪症状のある方は、ご参加をお控えください。
- ☆ 筆記用具はご持参ください。

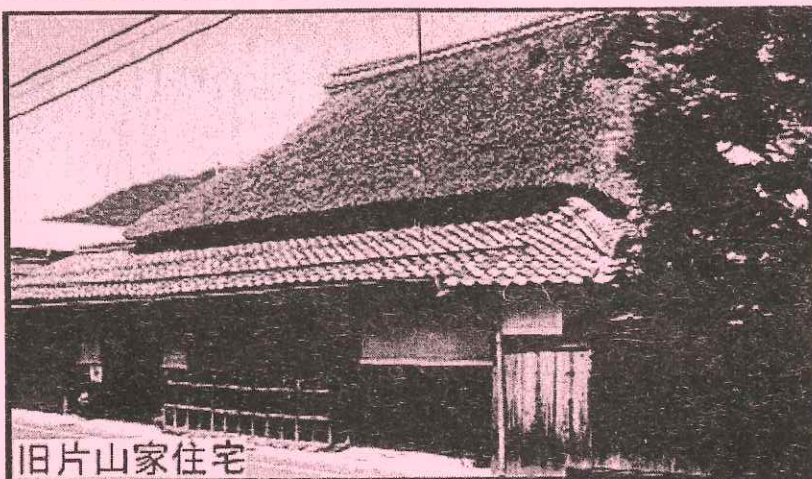
間の宿 中・小幡宿と清水鼻宿



この地図は、文化三年(1806年)に幕府によって完成された「中山道分限延絵図」の清水鼻周辺です。この地図に描かれている「立場」は、道中奉行が、宿場間が遠い場合・峠のような難所が有る場合に、休憩場所として設けられた施設です。

また、文化九年(1812年)に発行された、十返舎一九著の「木曾街道続膝栗毛」に「かくて守山武佐をうち過ぎて、相の宿清水が鼻という所に至りし頃・・・」とあります。

「相の宿」は「間の宿」のことで、清水鼻は「間の宿 清水鼻宿」だったのです。



「五個荘町史」によれば、江戸時代に石塚村片山家は本陣として、萩藩主毛利氏や名古屋藩主徳川氏の休憩や宿泊の記録が72件残されています。